

## 五條市におけるデジタル交通サービス実証実験の検討

五條市 総務管財課

### 1. 五條市の公共交通における課題

---

- ・過疎化・人口減少に伴い、公共交通の利用者が減少することにより、公共交通に関する負担が増大している。
- ・公共交通に関する担い手不足が進んでいる。
- ・特に山間地区において、ラストワンマイルを担う交通体系が不足している。  
(停留所までのアクセスに距離があり、買物・通院等に利用される高齢者の移動が困難)  
→財政的な面・人員確保の面からも、更なる地域公共交通の拡充が困難な状況。

### 2. 自動運転の走行ルート上の技術的な課題・問題点

---

- ・道路は山腹に位置し、谷に面した急な坂道となっており、幅員は1.5車線程度。また、周辺に生コンクリートを製造する事業所があり、道路上を頻繁に大型のミキサー車が通る。
- ・そのため、離合が困難であることが大きな課題となる。その他、道路の状態が陥没等、安定して走行できる状態になっていない部分があり、また、車両が対向・転回できる箇所も限られている。
- ・道路周辺は木々が生い茂っていることや、冬場は積雪が多い地区であり、GNSSの活用や3Dマップ等での位置情報の記録に適さない地域である。
- ・離合等の課題の他に、電磁誘導線による自動運転の場合は、埋め込みの距離が長く、上記のミキサー車の移動などから、道路のメンテナンスを頻繁に行う必要があり、多額の費用が発生することが想定される。

### 3. 試乗会による検証

---

- ・R5.10月 永谷地区住民を対象とし、自動運転車両及びパーソナルビークル車両の試乗会及びアンケート調査を実施。(安全性の担保のため、市有地での実証を実施)
- ・各車両について、試乗前後の体感や、永谷地区での導入可能性等について聞き取りを行った。各車両に関する不安感は試乗いただくことにより解消されたが、永谷地区で実際に自動運転等の車両を導入することについては、上記の対向や道路環境等の問題から生じる危険性への不安により、「利用できない」との回答が多数を占めた。

### 4. 今後について

---

- ・自動運転については、運行を想定する道路の状況や、道路整備に要する費用、試乗会を通じた地域住民のアンケート結果から課題・問題点があることが明らかとなった。
- ・一方で、永谷地区の住民からは、「自動運転の実現には時間がかかると思うが、現状移動に困っているの、コミュニティバス等での移動手段の検討を早期に望む」といった声大きい。
- ・自動運転の実証運行の可能性を探ってきたが、地域住民の意見を踏まえたうえで、短期的な取組として、本市の既存のコミュニティバス、デマンドタクシー等による移動を現在検討することをまずは優先することとし、自動運転の実証運行については、今後の技術の進展等を見据えつつ、一旦見送ることとした。